

# 住環境新聞

## 「住快環プロジェクト」 “報告会” が開催されました。



平成18年1月15日(日)の午後3時から、ラムザタワー8階和室において報告会を開催しました。当日は住民の方が11名、芝浦工業大学三浦研究室からは学生が7名と三浦教授で合計19名が参加しました。司会進行は同自治会会長・経龍夫氏が務めました。

報告会では、これまでラムザ自治会と三浦研究室の共同で行ってきたすべての住環境調査の詳しい結果について、他地区の結果との比較を交えながらわかりやすく報告いたしました。また、その結果をもとに今後のラムザタワー周辺の住環境についての活発な意見交換も行われ、参加された住民の方から貴重なご意見を頂きました。芝浦工業大学・三浦昌生教授の講評もあり、大変充実した報告会になりました。

以下に、報告会において出された主な意見を示します。夜間照度については特に問題はありませんでしたが、明るいところと暗いところの差が激しいとの意見もありました。



写真 報告会後の1枚



写真 報告会の様子

### 路上駐車と車両交通量について出された主な意見

- ・ 消防や警察に頼んでもいいが、おそらくやってくれない。
- ・ 再開発によってさらに路上駐車、車両交通量ともに増加する可能性がある。
- ・ 路上駐車のおかげで、駐車場から出るときに他の車両が見えない
- ・ 時間帯で進入禁止の措置をとる方法もある。
- ・ 以前、救急車両が止められないことがあった。
- ・ 曜日と時間を変更すると、また違った結果が得られるのでは？

### 騒音について出された主な意見

- ・ 予想よりも騒音が小さくて驚いた。
- ・ 音の最大値に注目したほうがいいのでは。
- ・ 透水性舗装、排水性舗装などの対策を考えてみたい。
- ・ 今後の再開発で交通量が増えることで騒音の悪化も心配される。

### 空気の汚れについて出された主な意見

- ・ タワー内側の空気のほうが外側よりも汚れていてショックだった。
- ・ すぐに害はないが、今後が心配。
- ・ 何か対策があれば実行したい。
- ・ 再開発によって大気汚染の悪化も懸念される。

## 最終号

2006年2月14日  
ラムザ自治会  
ロハス倶楽部  
芝浦工業大学三浦研究室  
小曾戸 毅  
松本 龍憲

### 【新聞の発行にあたって】

この「住環境新聞」は、住民の皆さまに住環境に対する興味を持っていただきたい、また、住環境実測調査などの実際の活動に参加していただきたいの思いを込めて発行してまいりました。皆さまの住環境に対する意識は高まりましたでしょうか。今号をもちまして、住環境新聞の発行を終了とさせていただきます。これまで作成にご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

## 半年間、お世話になりました！



まつもと たつり  
松本 龍憲

半年間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。今まで経験したことのないことを経験させていただき、僕にとって大きなプラスになりました。また、4つの実測調査、2回のアンケート調査そして報告会、それらを無事に終えることが出来たのも住民の皆さまのおかげです。今後何か調査を行いたいときは気軽に左記連絡先までご連絡ください。お待ちしております。



おそど つよし  
小曾戸 毅

僕はこの半年間で大きく成長できたと思います。これは、住民の皆さまとの話し合いや共同実測調査など、様々な経験により培われたものです。プロジェクト開始当初は不安に思うこともありましたが、先日無事に報告会を開催することができ、今はやり遂げた達成感とご参加いただいた住民の皆さまへの感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。4月からは社会人として頑張ります。

ご参加ありがとうございました  
住快環プロジェクトでは、ラムザタワー住民の皆さまのご参加により、実測結果とアンケート結果を「住環境調査結果報告書」として発行することができました。

また、芝浦工業大学・三浦研究室の皆さまのご支援により、環境実測技術の習得と環境基準等についての知識整理をすることができました。心より感謝申し上げます。

「見えない街の実態が見えてくる」というテーマどおり報告書には、住民の皆さまの成果が表現されていると思います。武蔵浦和駅周辺の地区再開発事業により、ラムザタワー周辺も大きく変化することが予想されます。この報告書が住民の皆さまにとって有用になれば幸いです。

ラムザ自治会会長 経 龍夫

### 《お問い合わせ先》

ラムザ自治会 ロハス倶楽部  
Email : lohas@lamza.org  
URL : http://www.lamza.org/  
芝浦工業大学 三浦研究室  
TEL / FAX : 048 (687) 5832  
Email : r02054@sic.shibaura-it.ac.jp (松本)  
URL : http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/  
担当学生 : 小曾戸 毅 松本 龍憲

# 第2回アンケート調査を行いました!

昨年の12月17日(土)に1階集合ポストより各戸別に投函し、第2回アンケート調査を実施しました。このアンケート調査では今までに行った実測調査の結果や比較を掲載した「住環境調査結果報告書」を同封し、実測調査結果を見た上での住民の皆さまの意見や意識について聞きました。回収率は52票、回収率は16%でした。図1にアンケート回収率の比較を示します。お忙しい中アンケート調査にご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

図2～図7は実測調査項目であるアンケート調査結果の比較であり、住まい周辺の路上駐車・車両交通量・騒音・夜間照度・空気の汚れに対する感じ方の変化を示しています。特に、図4で周辺の騒音に対してうるさい側の回答が減っていることについては、今回の調査で等価騒音レベルが環境基準を満たしたためだと考えられます。また、図6で周辺の空気の汚れに対して汚い側の回答が増えていることについては、ラムザタワー内側の値がところどころ環境基準を上回

ったためだと考えられます。図7で住まい周辺の住環境に対する満足度については、満足側・不満側の回答が減り、どちらでもないが増える結果となりました。図8は住環境に対する向上意志・関心、行動意志を表したものです。第1回アンケート調査と比較すると全項目の割合が増えていることから、住環境に対する意識が非常に高まったことが分かりました。また、図9はこれまで4号に渡り発行してきた住環境新聞に対する感じ方を表したものです。住環境新聞を読むことでも住環境に対する意識が高まったといえるのではないのでしょうか。また、表1は再開発に対する意見を表したものです。反対側の意見が大半を占めました。ラムザ自治会周辺地区においては、再開発事業により環境が大きく変わります。今後も今回のような調査を継続して実施することで、街の現状を皆さまで常に把握しておく必要があるのではないのでしょうか。

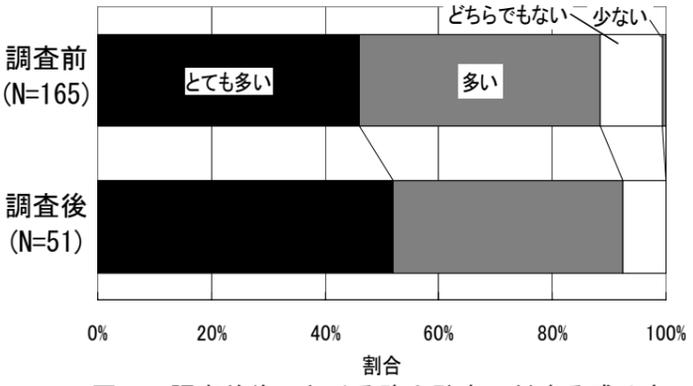


図2 調査前後における路上駐車に対する感じ方

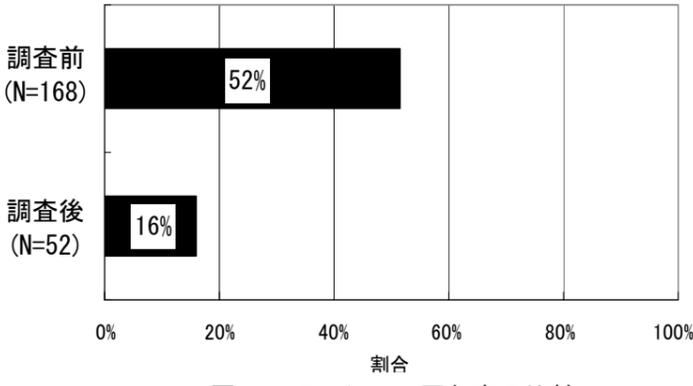


図1 アンケート回収率の比較

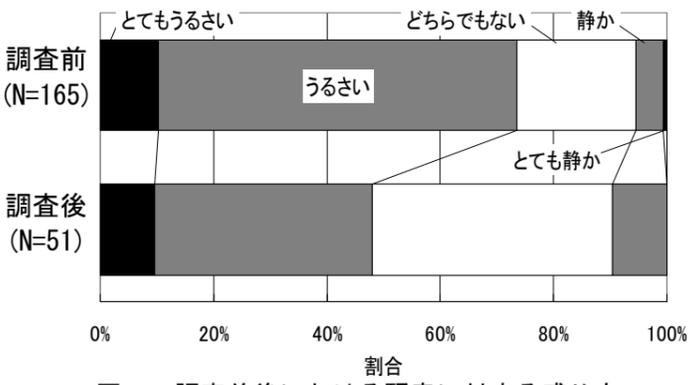


図4 調査前後における騒音に対する感じ方

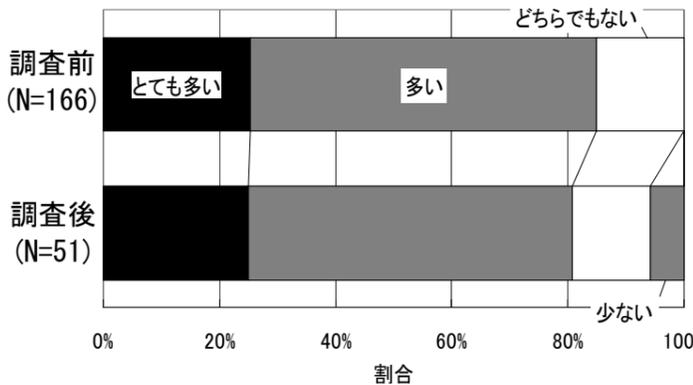


図3 調査前後における車両交通量に対する感じ方

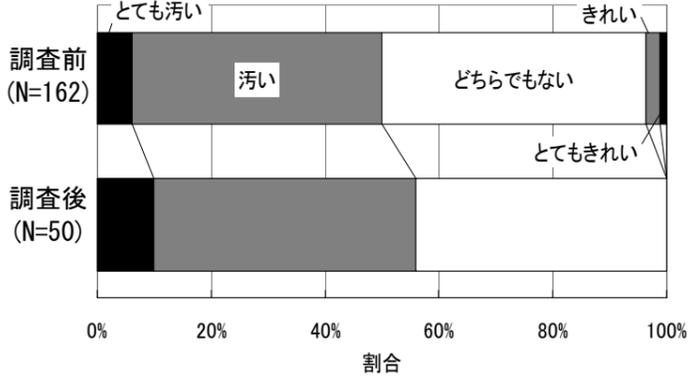


図6 調査前後における空気の汚れに対する感じ方

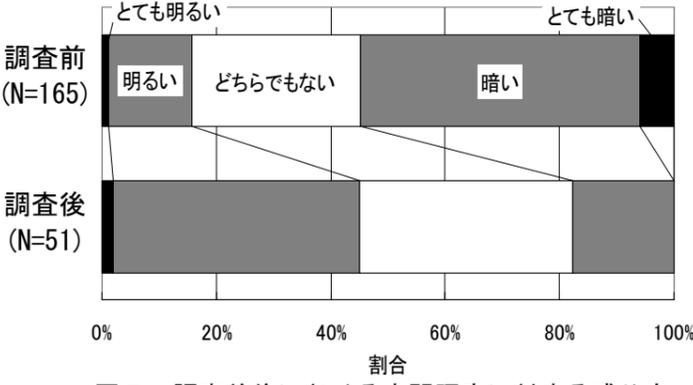


図5 調査前後における夜間照度に対する感じ方

表1 再開発に対する意見(抜粋)

- 再開発は結構ですが、交通量、違法駐車、騒音、夜間の道路の明るさ等々を考えた上で再開発を進めてほしい。緑地帯や公園等もあって欲しいと思います。
- 再開発事業で、よい街が出ていくものと期待していたが、実際は、事業者の都合に合わせたコンセプトなし、一体感なしのばらばらの開発で、住環境や生活する立場の人を考慮していない。結局、自分たちで活動してよくするよう努力するしかなく、こんな開発がなされるとは想定外。という感じです。
- 再開発にともない住環境がどう変わっていくのか、1年に1回くらい住環境調査を行ったら良いと思いました。
- 開発が進み便利になったり活気な街になるのは良いが、道幅が狭かったり車が増え、騒音、空気の問題など不安の方が大きい。我が家から見える景色も変わってしまう。便利を買ったら、環境を望んではいけないのか。
- 再開発にともない、ラムザ周辺の住環境の乱れが心配。
- 開発が必要なことは当然ですが、もう少し住民側の意見も聞き入れてもらえたらと思います。
- アンケートから分かるように、ラムザを選んだ理由の上位に「景観や眺望」があります。それを奪われるような再開発がどうして行われようとしているのかわかりません。

### お詫びと訂正

「住環境新聞3号」において、騒音実測結果の図に誤りがありました。定点計測値点が「26階東・12階西・11階南」であるところ、「12階西」を「22階西」と載せてしまいました。ここに訂正してお詫びいたします。

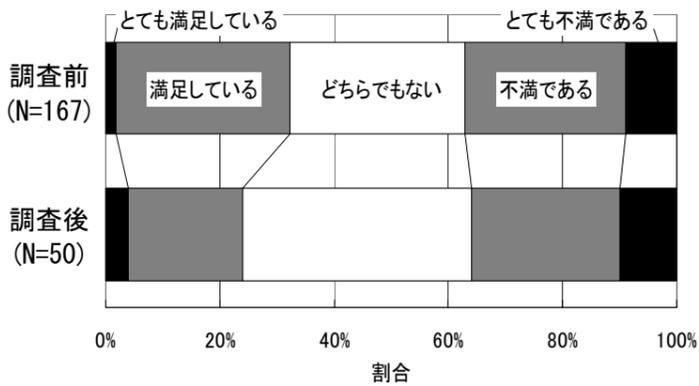


図7 調査前後における住環境の満足度の変化

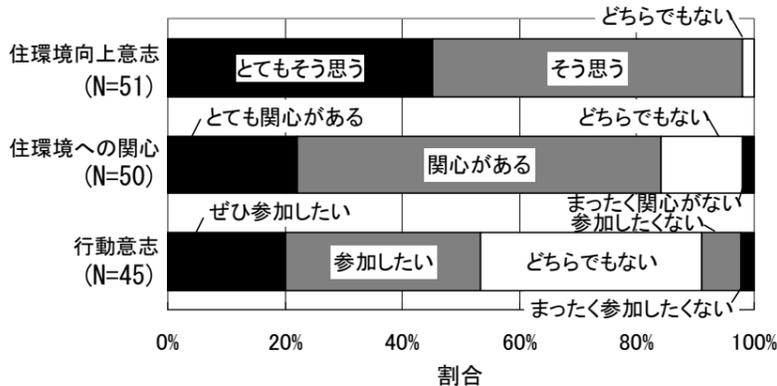


図8 調査後の住環境に対する向上意志・関心、行動意志

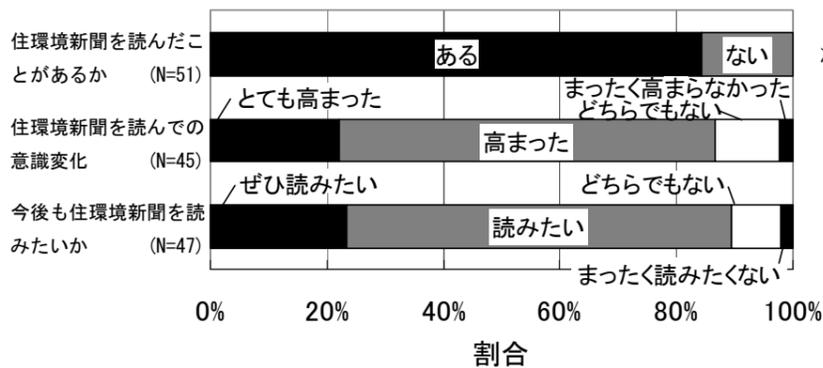


図9 住環境新聞に対する感じ方